

学会発表：Hasegawa D, et al. EBMT (April 9, 2013), London	
論文業績：執筆中	
7-6	「小児骨髄異形成症候群に対する再移植」 PI：加藤元博
学会発表：加藤元博 他 第36回日本造血細胞移植学会（2014年3月7日、沖縄）	
論文業績：執筆中	

③ 会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013年1月14日	国立がん研究センター —	研究の進捗の確認、方針について検討

④
—
リ

ングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで）
（355）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

学会発表されている研究について、論文を作成中であり、投稿を進めていく。7-6「小児骨髄異形成症候群に対する再移植」については既に草稿ができあがっており、近く投稿予定である。若年性骨髄単球生白血病については今年の小児血液・がん学会で学会発表の予定となっている。

8. 骨髄異形成症候群（MDS） 【成人】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宮崎 泰司	長崎大学病院	血液内科（原研内科）
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
河野 彰夫	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
石川 隆之	神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学医学部附属病院	第三内科
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
高見 昭良	金沢大学附属病院	血液内科
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科

岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
大西 康	東北大学病院	血液免疫科
中尾 眞二	金沢大学附属病院	血液内科
臼杵 憲祐	NTT 東日本関東病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
太田 秀一	札幌北榆病院	内科
糸永 英弘	佐世保市立総合病院	血液内科
石山 謙	東京都立大塚病院（東京都立駒込病院）	血液内科
小林 寿美子	日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野	血液膠原病内科
石井 一慶	関西医科大学附属枚方病院	血液・腫瘍内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
町田 真一郎	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
青木 淳	がん・感染症センター都立駒込病院	血液内科
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
土岐 典子	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
宮尾 康太郎	安城更生病院	血液・腫瘍内科
森下 喬允	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座	血液腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科

② 承認研究の進捗状況（2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む）

8-1	「同種造血幹細胞移植が行われた50歳以上のMDS患者における移植成績の検討」 PI：青木一成
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：執筆中	
8-3	「成人MDSに対する臍帯血移植」 PI：石山謙
学会発表：(1) Ishiyama K, et al. EHA2013 18 th congress of European Hematology Association. 2013年6月15日	
(2) 石山謙ほか、第75回日本血液学会学術集会 2013年10月11-13日（ロイトン札幌）	
論文業績：執筆中	
8-4	「慢性骨髄単球性白血病に対する同種造血幹細胞移植の有効性の検討」 PI：糸永英弘
学会発表：Itonaga H, et al. ASH2013 55 th ASH annual meeting 2013年12月7-10日（ニューオリンズ）	
論文業績：執筆中	
8-5	「低リスク骨髄異形成症候群に対する造血幹細胞移植」 PI：青木淳
学会発表：未	
論文業績：未	

8-6	「治療関連骨髄性腫瘍 (therapy-related myeloid neoplasms;therapy-related AML/MDS) の移植成績」 PI : 臼杵憲祐
学会発表 : 未	
論文業績 : 未	

③ 会議開催記録 (2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2013年3月7日	石川県立音楽堂	現在進行中の研究について、染色体統一データについて、新たなプロジェクトについて

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで)
(233)回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

研究はこれまで順調に国際学会等で発表されており、今後、論文化を進めていきたい。また、新たなテーマの提案もあっており、さらに若手の積極的な参加を推進したい。

9. 悪性リンパ腫 (ML) 【小児】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 小林 良二	札幌北楡病院	小児科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	血液内科
深野 玲司	国立病院機構 九州がんセンター	小児科

② 承認研究の進捗状況 (2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

9-2	「小児における稀なリンパ腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI : 小林良二
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績 : 済 (WG 研究業績一覧参照)	
9-4	「小児未分化大細胞型リンパ腫に対する造血細胞移植成績」 PI : 深野玲司
学会発表 : Stem cell transplantation for anaplastic large cell lymphoma of children and adolescent in	

Japan (第75回日本血液学会、2013/10/11-13、ロイトン札幌)	
論文業績:	
9-5	「小児リンパ芽球性リンパ腫に対する造血細胞移植成績」 PI: 三井哲夫
学会発表・論文業績:	
9-6	「小児成熟B細胞性腫瘍に対する造血細胞移植成績」 PI: 藤田直人
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	

③ 会議開催記録 (2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで) (120) 回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

小児リンパ腫はメンバー6人という弱小WGです。そもそも小児では悪性リンパ腫は多くなく、また病型も多彩であることから研究を組みにくい特徴があります。しかしながら、いままでに3つの学会発表および1つの論文掲載が進んでおります。これからも少しずつですが情報発信をできるように努力したいと思っております。

10. 悪性リンパ腫 (ML) 【成人】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
近藤 英生	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
鈴木 律朗	名古屋第二赤十字病院	薬物療法内科
加藤 春美	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
小川 啓恭	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
石田 文宏	信州大学医学部	保健学科 病因・病態検査学
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
千原 大	愛知県がんセンター研究所	疫学予防部
多田 耕平	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
今田 和典	小倉記念病院	血液内科
高橋 勉	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
三橋 健次郎	東京女子医科大学病院	血液内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
青木 智広	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科
神山 祐太郎	東京慈恵会医科大学附属病院	造血細胞治療センター

② 承認研究の進捗状況 (2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

10-1	「濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI:伊豆津宏二
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
10-2	「悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植」 PI:吾郷浩厚
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:なし	
10-3	「節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型(ENKL)の移植成績」 PI:鈴木律朗
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:投稿中	
10-4	「リンパ腫の組織型別・病期別移植成績」 PI:伊豆津宏二
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:なし	
10-5	「ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」 PI:賀古真一
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:投稿中	
10-6	「移植前B型肝炎、C型肝炎ウイルスの感染状態が悪性リンパ腫の移植成績および有害事象に及ぼ

	「す影響」	PI : 加藤春美
<p>学会発表 : 加藤春美, 他. 移植前肝炎ウイルスの有無がリンパ腫の移植成績に及ぼす影響 - JSHCT 成人悪性リンパ腫 WG からの報告 - 第 75 回日本血液学会総会 (2013 年 10 月 11 日-13 日), 札幌</p> <p>Harumi Kato, et al. Hepatitis B and C Virus Infections Are Not Associated With Worse Clinical Outcomes After Autologous Stem Cell Transplantation: On Behalf Of The Adult Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. 55th ASH Annual Meeting, New Orleans, LA, USA. Dec. 7-10, 2013</p> <p>論文業績 : なし</p>		
10-7	「高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」	PI : 千原大
<p>学会発表 : Dai Chihara, et al. High-dose chemotherapy with ASCT for elderly patients with relapsed/refractory DLBCL: a retrospective analysis from the Adult Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. 12th International Conference on Malignant Lymphoma (12-ICML), Lugano, June 19-22, 2013</p> <p>論文業績 : Dai Chihara, Koji Izutsu, Eisei Kondo, Rika Sakai, Shuichi Mizuta, Kenji Yokoyama, Hiroto Kaneko, Koji Kato, Yuichi Hasegawa, Takaaki Chou, Hiroyuki Sugahara, Hideho Henzan, Hisashi Sakamaki, Ritsuro Suzuki, Junji Suzumiya.</p> <p>High-dose chemotherapy with autologous stem cell transplantation for elderly patients with relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma: a nationwide retrospective study.</p> <p>Biology of Blood and Marrow Transplantation (in press).</p>		
10-8	「縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」	PI : 近藤英生
<p>学会発表 : Kondo E, et al. High dose chemotherapy with autologous stem cell support for Primary Mediastinal large B-cell Lymphoma: a retrospective analysis from the Adult Malignant Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). 12th International Conference on Malignant Lymphoma (12-ICML), Lugano, June 19-22, 2013</p> <p>論文業績 : なし</p>		
10-9	「中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」	PI : 近藤英生
<p>学会発表 : Eisei Kondo, et al. High dose chemotherapy with autologous stem cell support for primary CNS lymphoma: a retrospective analysis from the Adult Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). 18th Congress of the European Hematology Association. Stockholm, Sweden, June 13-16, 2013</p> <p>論文業績 : なし</p>		
10-10	「自家末梢血幹細胞移植前処置が悪性リンパ腫の移植後予後に及ぼす影響に関する研究」	PI : 水田秀一
<p>学会発表 : 未</p> <p>論文業績 : なし</p>		
10-11	「血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫における造血幹細胞移植の意義についての検討」	PI : 加藤光次
<p>学会発表 : 未</p> <p>論文業績 : なし</p>		

③ 会議開催記録 (2013 年 1 月-12 月)

日時・場所	会議内容
2013/3/7 (平成 24 年度第 3 回) 金沢県立音楽堂	成人リンパ腫 WG の責任者に鈴宮淳司が継続することが報告された。WG の活動を活性化するために若い先生方の参加を募ること、以下に上げるような新規のテーマについて議論がされた。菌状息肉症、セザリー症候群に関する後方視研究、代表的

	な大量化学療法レジメンごとの自家移植の治療成績の比較、blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm (BPDCN)、Anaplastic large cell lymphoma について、Enteropathy-associated T-cell lymphoma などのその他稀少な T 細胞リンパ腫、Aggressive lymphoma vs ATLL、感染症や NRM などの特徴の比較、PCNSL に対する自家移植、自家移植後の CNS relapse についての解析、IVLBCL の研究、Double hit lymphoma の移植成績に関する研究。
--	---

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで)
(956) 回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

メンバーも 34 名になり、若い先生方が増えてきました。その先生方が新しい研究テーマを出され、WG 全体に活気がでてまいりました。立案されました研究テーマが発表され、論文化されるように WG のメンバー全員でやっていけるようにしたいと考えております。とにかく発言しやすい、若い先生方ものびのびとやれるような WG にしたいと考えていますので、成人リンパ腫の移植治療に興味のある先生はご参加ください。また、昨年も抱負とさせていただきますが、この WG を母体として前向き研究ができるような体制づくりもしたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1.1. 再生不良性貧血 【小児】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 : 小島 勢二	名古屋大学医学部附属病院	小児科
菊地 陽	帝京大学医学部附属病院	小児科
工藤 寿子	静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
矢部 普正	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
小林 良二	札幌北楡病院	小児科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科

② 承認研究の進捗状況(2013 年 1 月-12 月 ※JSHCT2014 を含む)

11-1	「フルダラビン導入が非血縁骨髄移植の成績に与える影響」 PI : 矢部普正
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績 :	
11-2	「小児再生不良性貧血における HLA 一致血縁者間骨髄移植と免疫抑制療法の比較」 PI : 吉田奈央
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績 :	
11-3	「小児再生不良性貧血におけるドナー選択—HLA 一致血縁ドナー、不一致血縁ドナー、非血縁ド

	ナーの比較」 PI：小島勢二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
11-4	「小児の HLA 一致同胞間移植における治療成績」 PI：菊地陽
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：Kikuchi A, Yabe H, Kato K, Koh K, Inagaki J, Sasahara Y, Suzuki R, Yoshida N, Kudo K, Kobayashi R, Tabuchi K, Kawa K, Kojima S. Long-term outcome of childhood aplastic anemia patients who underwent allogeneic hematopoietic SCT from an HLA-matched sibling donor in Japan. Bone Marrow Transplant. 2013;48(5):657-60.	
11-7	「小児再生不良性貧血における骨髄移植後ドナータイプ造血不全の解析」 PI：吉田奈央
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
11-8	「再生不良性貧血の移植前処置としての至適サイモグロブリン投与量の検討；5mg/kg と 10mg/kg との比較を中心として」 PI：矢部普正
学会発表： 論文業績：	
11-9	「小児再生不良性貧血造血幹細胞移植症例における移植後血流感染症の合併リスクの検討」 PI：小林良二
学会発表：JSHCT2014 第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日），沖縄 論文業績：投稿中	
11-11	「小児 AA における 2 回目移植の成績」 PI：工藤寿子
学会発表：JSHCT2014 第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日），沖縄 論文業績：	
11-12	「小児造血不全症における FLU+LPAM を前処置に用いた造血幹細胞移植法の検討」 PI：吉田奈央
学会発表：JSHCT2014 第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日），沖縄 論文業績：	

③ 会議開催記録（2013 年 1 月-12 月）

日時	場所	会議内容
2013 年 6 月 1 日	名古屋	発表項目の検討

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで）
（ 0 ）回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

これまで発表した内容の論文をすすめる。

12. 再生不良性貧血【成人】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 山崎 宏人	金沢大学附属病院	血液内科
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
山本 久史	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学医学部附属病院	第三内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
鈴木 律朗	名古屋第二赤十字病院	薬物療法内科
竹中 克斗	九州大学病院	血液腫瘍内科
大西 康	東北大学病院	血液免疫科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
中尾 眞二	金沢大学附属病院	血液内科
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学

② 承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

12-1	「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植における患者 HLA の影響」 PI：山崎宏人
学会発表：山崎宏人 他 第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-9日） 沖縄コンベンションセンター	
論文業績：	
12-2	「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植の前処置の現状の評価」 PI：森毅彦
学会発表・論文業績：未発表	
12-3	「再生不良性貧血に対する2回目同種造血幹細胞移植の検討」 PI：大西康
学会発表：大西康 他 第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-9日） 沖縄コンベンションセンター	
論文業績：	

③ 会議開催記録(2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
1月13日	国立がん研究センター	進捗状況の確認。他のWGとの共同研究依頼の取扱いについての検討。
7月7日	名古屋第一赤十字病院	新たに再移植例に関する検討を研究テーマに加える。

④
ー
リ
ン
グ

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

再移植例の検討、患者 HLA の影響に関する検討は、第 36 回日本造血細胞移植学会総会で発表後、論文化を目指す。前処置の検討に関しては、現在、論文を執筆中である。これらの研究を進めていく過程で、TRUMP で取り扱った方がよい項目が抽出されつつある。WG 内で検討した上で、提案していきたい。

1 3. 成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATL)

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宇都宮 典	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
菱澤 方勝	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
石田 高司	名古屋市立大学病院	血液・膠原病内科
福島 卓也	琉球大学医学部保健学科	病態検査学講座血液免疫検査学分野
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
鵜池 直邦	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
崔 日承	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
中野 伸亮	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
町田 真一郎	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
多田 耕平	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科

澤山 靖	長崎大学病院	血液内科（原研内科）
------	--------	------------

② 承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

13-1	「ATL患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討」 PI：石田高司
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：済（WG研究業績一覧参照）	
13-2	「成人 T 細胞性白血病／リンパ腫に対する臍帯血移植の後方視的検討」 PI：加藤光次
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
学会発表：Koji Kato, et al. Cord blood transplantation for adult T-cell leukemia/lymphoma(ATL): A retrospective analysis from the ATL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.	
12th International Conference on Malignant Lymphoma (12-ICML), 平成 25 年 6 月 19 日, Lugano	
論文業績：投稿中	
13-3	「ATL患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討、GVHDの意義について」 PI：石田高司
学会発表：なし	
論文業績：Ishida T, Hishizawa M, Kato K, Tanosaki R, Fukuda T, Takatsuka Y, Eto T, Miyazaki Y, Hidaka M, Uike N, Miyamoto T, Tsudo M, Sakamaki H, Morishima Y, Suzuki R, Utsunomiya A. Impact of graft-versus-host disease on allogeneic hematopoietic cell transplantation for adult T cell leukemia-lymphoma focusing on preconditioning regimens: nationwide retrospective study. Biol Blood Marrow Transplant. 2013;(12):1731-9.	
13-4	「成人 T 細胞性白血病／リンパ腫の同種移植後再発に対する治療およびその予後に関する検討」 PI：加藤光次
学会発表：Koji Kato et al. Treatment of relapsed/refractory adult T-cell leukemia/lymphoma after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: the JSHCT-ATLWG study	
第 36 回日本造血細胞移植学会総会, 平成 26 年 3 月 8 日, 沖縄コンベンションセンター 口演	
論文業績：なし	

③ 会議開催記録 (2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2013/1/14 (第6回)	国立がん研究センター中央病院	<p>臍帯血移植の解析で、若年者、寛解状態、骨髄破壊移植などの予後良好の因子の抽出を行った。また、ルガノ悪性リンパ腫国際会議への発表を行うことを確認した。</p> <p>骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討の中で GVHD の意義について議論した。両前処置ともに G1/2 の急性 GVHD の発症は予後良好に働いた。G3/4 の急性 GVHD は有意に治療関連死と関連していた。早急に論文作成を行うこととした。</p> <p>各種リスクスコアの有用性についての提案があったが、2007 年以降のデータ欠損が多く、再検討することとなった。</p>

2013/3/7 (第7回)	金沢県立音楽堂	<p>ATL-WGの責任者の選挙にて宇都宮が再選された旨の報告が選挙管理委員長の鈴宮先生より報告がなされた。</p> <p>日本造血細胞移植学会でのワーキンググループ活動発表会のATL-WGの報告内容について宇都宮より説明した。</p> <p>再移植症例の検討、各種リスクスコアの有用性の検討、中枢神経浸潤の解析、などが新しい研究テーマの提案候補としてあがった。</p>
2013/7/7 (第8回)	名古屋第一赤十字病院	<p>新規メンバー4名(井上、今田、吉田、吉満)の自己紹介と抱負について述べてもらった。</p> <p>臍帯血移植の後方視的研究でルガノ会議での発表について加藤先生より報告があった。生着前の感染症を中心とした移植関連死が多いことが問題であるとの指摘を受けた。すみやかに論文投稿をすすめることで合意した。新たな研究テーマとして、(1)再移植症例の検討、(2)CMV感染症、(3)HLAと移植成績、(4)中枢神経浸潤、などが候補としてあがった。</p>

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで)
(989)回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

今年度のATL-WGの活動は、打ち合わせ会は3回開催したものの新たな研究課題が1つの承認のみであった。成果としては、論文発表1編、論文投稿中1編、学会発表2回のみで十分ではなかった。ATL-WGの活性化が急務とされ、4名の新規メンバーも加えて活性化を図りたい。新たな研究テーマの候補として、感染症、リスクスコアの有用性、HLAと移植成績、中枢神経浸潤などの研究テーマがあがっているため、今後できる限り早急に研究テーマとして申請する計画である。

14. 多発性骨髄腫

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
谷口 享子	兵庫医科大学病院	血液内科

寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
前田 猛	倉敷中央病院	血液内科
宮本 敏浩	九州大学病院	血液腫瘍内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
石井 一慶	関西医科大学附属枚方病院	血液・腫瘍内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
高橋 勉	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
淵田 真一	社会保険京都病院	血液内科
牟田 毅	九州大学病院	血液腫瘍内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
青木 智広	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科
河村 浩二	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

② 承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

14-1	「本邦における多発性骨髄腫に対する同種造血幹細胞移植の検討」 PI：池田宇次
学会発表：なし 論文業績：なし	
14-2	「造血幹細胞移植を施行した多発性骨髄腫での予後因子解析」 PI：高松博幸
学会発表：高松博幸他 第18回欧州血液学会議 (EHA 2013) (平成25年6月13日～16日) 高松博幸他 第36回日本造血細胞移植学会総会 (JSHCT 2014) (平成26年3月7日～9日) 論文業績：なし	
14-3	「多発性骨髄腫に対する非血縁臍帯血移植の後方視的検討」 PI：河村浩二
学会発表：河村浩二他 第36回日本造血細胞移植学会総会 (JSHCT 2014) (平成26年3月7日～9日) 論文業績：なし	
14-4	「多発性骨髄腫に対する非血縁臍帯血移植の後方視的検討：二次調査」 PI：河村浩二
学会発表：なし 論文業績：なし	

③ 会議開催記録 (2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2013年1月	国立がん研究センター中央病院	14-2の提案および検討
2013年7月	名古屋第一赤十字病院	14-2のEHA2013報告、14-1, 14-3, 14-4の提案お

	よび検討,
--	-------

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013 年 11 月末時点まで)
(94) 回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

14-2 について：EHA2013 の内容を論文化予定。また追加解析にて JSHCT2014 に発表予定。
14-1 について：2014 年日本血液学会学術集会に発表予定。
14-3 について：2014JSHCT に発表予定。
14-4 について：二次調査を行う予定。

15. 固形腫瘍

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 井上 雅美	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
山本 将平	東京大学医科学研究所附属病院	小児細胞移植科
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
松本 公一	国立成育医療研究センター	腫瘍科
藤崎 弘之	大阪市立総合医療センター	小児血液腫瘍科
清水 崇史	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
小林 良二	札幌北楡病院	小児科

② 承認研究の進捗状況(2013 年 1 月-12 月 ※JSHCT2014 を含む)

15-1	「中枢神経腫瘍に対する造血細胞移植の成績」 PI：岩崎史記
学会発表・論文業績：	
15-2	「造血幹細胞移植を併用する大量化学療法を施行したユーイング肉腫ファミリー腫瘍の治療成績」 PI：小川淳
学会発表：済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績：	
15-3	「小児肝芽腫に対する大量化学療法の有用性の検討」 PI：山本将平
学会発表：済 (WG 研究業績一覧参照)	

論文業績：	
15-4	「神経芽腫に対する同種臍帯血移植の検討」 PI：高橋義行
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 小児ハイリスク神経芽腫に対する同種臍帯血移植の解析；高橋義行、松本公一、藤崎弘之、岩崎史記、橋井佳子、中村和洋、杉田完爾、矢部普正、加藤剛二、高梨美乃子、熱田由子、井上雅美：平成 25 年 11 月 30 日、第 55 回日本小児血液・がん学会学術集会、福岡	
論文業績：	
15-6	「網膜芽細胞腫に対する造血幹細胞移植の検討」 PI：小林良二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
15-7	「横紋筋肉腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI：小林良二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
15-8	「ウイルス腫瘍および類縁疾患に対する造血幹細胞移植の検討」 PI：小林良二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
15-9	「移植後再発小児神経芽腫に対する造血幹細胞移植の有効性の検討」 PI：松本公一
学会発表：	
論文業績：投稿予定。	

③ 会議開催記録（2013 年 1 月-12 月）

日時	場所	会議内容
なし		

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで） （ 455 ）回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

疾患別の検討については概ね終了しており、異なる切り口（晩期死亡率、その他：QOL-WG との共同研究など）での検討を計画したい。
本年度の活動は停滞傾向であったので、次年度に向けて活性化させたいと考えている。

16. 遺伝性疾患（免疫不全・代謝異常・造血不全など）

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科

矢部 普正		
矢部 みはる	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
後藤 裕明	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
森尾 友宏	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児科
中沢 洋三	信州大学医学部附属病院	小児科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
堀越 泰雄	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
高倉 広充	東海大学医学部附属大磯病院	小児科
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学
今井 耕輔	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	小児・周産期地域医療学講座

② 承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

16-3	「Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 PI：矢部普正
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） Allogeneic stem cell transplantation for Diamond-Blackfan anemia in Japan. 38 th Annual Meeting of the European Group for Blood and Marrow Transplantation. April 7-10 2013, London, UK.	
論文業績：	
16-4	「Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 PI：矢部みはる
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
16-9	「副腎白質ジストロフィーに対する同種造血細胞移植」 PI：加藤剛二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） Koji Kato, Hiromasa Yabe, Shunich Kato, Yoshiko Hashii, Keisei Kawa, Yoshiko Atsuta, Allogeneic Stem Cell Transplantation for Patients with Adrenoleukodystrophy. Nationwide Retrospective Study in Japan, 55 th American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition, 2013.12.7. New Orleans, USA	
論文業績：	

③ 会議開催記録 (2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
1月13日	国立がんセンター	担当テーマの進捗状況報告、二次調査研究等の情報交換と周辺領域での海外における研究の現状についての情報交換
7月6日	名古屋第一赤十字病院	担当テーマの進捗状況報告、二次調査研究等の情報交換、データ保管作業の打合せ

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで)
(132) 回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

先天性好中球減少症については解析するテーマが絞られたため、研究概要書の修正を加えて提出し、本年中の発表を目指しています。ウイスコット・アルドリッチ症候群と X 連鎖血小板減少症についての解析は二次調査を伴うため、研究計画書を作成し、PI の施設 IRB および一元化委員会での承認を済ませ、学会の臨床研究審査に進んでおり、本年中に二次調査を開始する予定です。混合キメラ・生着不全に対する DLI の研究は二次調査を必要としますが、PI が既に行っていた他の二次調査を伴う研究の論文が投稿段階に来たため、間もなく再申請する予定です。その他、慢性肉芽腫症を対象とした研究と、遺伝性疾患全体の動向と成績をテーマにした研究について、研究概要書が作成されており、間もなく申請の予定です。発表が済んだ 3 つのテーマ (ファンconi貧血、ダイヤモンド・ブラックファン貧血、副腎白質ジストロフィー) については、論文化の方向で検討しています。

遺伝性稀少疾患を対象とした造血細胞移植の研究では、TRUMP で網羅されていない遺伝子診断などのデータが論文化には不可欠な事情があり、関連する学会との調整が必要であるため、造血細胞移植学会の学会員に WG に参加して頂くなどして、今後具体的に検討を進めます。

17. HLA と移植成績

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
川瀬 孝和	Fred Hutchinson Cancer Research Center	Program in Immunology
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
前田 嘉信	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
宇都宮 興	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科

高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
鬼塚 真仁	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
鋤塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植再生医療
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
熱田 由子	名古屋大学大学院医学系研究科	
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
屋部 登志雄	日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター	検査部検査開発課
高梨 美乃子	日本赤十字社	血液事業本部
星野 匠臣	群馬大学医学部附属病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
藤 重夫	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
有馬 靖佳	(公財) 田附興風会 医学研究所 北野病院	血液内科
近藤 英生	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
河村 浩二	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

② 承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

17-1	「GVHDが生じるとGVL効果があるのは事実か? : 血縁、非血縁ドナーからの造血幹細胞移植におけるHLA座適合度別解析」 PI: 森島泰雄
解析中	
17-2	「アジア・太平洋地区におけるHLAを基盤にした人種別同種移植免疫反応の比較解析」 PI: 森島泰雄
海外施設データ収集中	
17-3	「非血縁者間骨髄移植における年代別のアリル不適合の影響」 PI: 神田善伸
学会発表: 済 (WG研究業績一覧参照)	
論文業績: Kanda Y, Kanda J, Atsuta Y, Maeda Y, Ichinohe T, Ohashi K, Fukuda T, Miyamura K, Iida H, Mori T, Iwato K, Eto T, Kawa K, Morita S, Morishima Y. Impact of a single human leucocyte antigen (HLA) allele mismatch on the outcome of unrelated bone marrow transplantation over two time periods. A retrospective analysis of 3003 patients from the HLA Working Group of the Japan Society for Blood and Marrow Transplantation. Br J Haematol. 2013;161(4):566-77.	
17-4	「非血縁者間臍帯血移植(UCBT)におけるHLA不一致度と感染症発症頻度」 PI: 加藤俊一

学会発表：第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-3月9日），沖縄	
17-5	「非血縁者間骨髄移植（UBMT）におけるHLA抗原（血清型）不一致移植成績」 PI：加藤俊一
学会発表：予定（演題申込済み）	
17-6	「Reduced intensity conditioning を用いた非血縁者間骨髄移植におけるHLA不一致の影響」 PI：横山寿行
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
17-7	「HLA適合血縁者間移植とHLA適合非血縁者間移植におけるHLAハプロタイプ、HLA型に基づく移植免疫反応の解析」 PI：森島聡子
学会発表：第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-3月9日），沖縄	
17-8	「KIRリガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討」 PI：田中淳司
学会発表：18th Congress of European Hematology Association, 13-16 June 2013, Stockholm, Sweden 論文業績：Tanaka J, Morishima Y, Takahashi Y, Yabe T, Oba K, Takahashi S, Taniguchi S, Ogawa H, Onishi Y, Miyamura K, Kanamori H, Aotsuka N, Kato K, Kato S, Atsuta Y, Kanda Y. Effects of KIR ligand incompatibility on clinical outcomes of umbilical cord blood transplantation without ATG for acute leukemia in complete remission. Blood Cancer J. (in press).	
17-9	「造血幹細胞移植におけるHLA型・HLAハプロタイプ型と感染症発症頻度」 PI：川瀬孝和
解析中	
17-10	「複数回造血細胞移植実施時におけるHLA適合性の検討」 PI：前田嘉信
解析中	
17-11	「T細胞除去を用いないHLA不一致親子間移植においてレシピエントとドナーとの血縁関係が移植成績に与える影響の検討」 PI：一戸辰夫
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
17-12	「非血縁者間臍帯血移植におけるHLA不適合度と移植成績」 PI：熱田由子
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：Atsuta Y, Kanda J, Takanashi M, Morishima Y, Taniguchi S, Takahashi S, Ogawa H, Ohashi K, Ohno Y, Onishi Y, Aotsuka N, Nagamura-Inoue T, Kato K, Kanda Y; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Different effects of HLA disparity on transplant outcomes after single-unit cord blood transplantation between pediatric and adult patients with leukemia. Haematologica. 2013;98(5):814-22.	
17-13	「非血縁者間臍帯血移植におけるGVH方向HLA不適合あるいはHVG方向HLA不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI：諫田淳也
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：Kanda J, Atsuta Y, Wake A, Ichinohe T, Takanashi M, Morishima Y, Taniguchi S, Takahashi S, Ogawa H, Ohashi K, Ohno Y, Aotsuka N, Onishi Y, Kato K, Nagamura-Inoue T, Kanda Y; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Impact of the direction of HLA mismatch on transplantation outcomes in single unrelated cord blood transplantation. Biol Blood Marrow Transplant. 2013;19(2):247-54.	
17-14	「非血縁者間骨髄移植における年代別の高リスクアレル不適合の影響」 PI：神田善伸

学会発表：第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-3月9日），沖縄	
論文業績：Kanda Y, Kanda J, Atsuta Y, Fuji S, Maeda Y, Ichinohe T, Takanashi M, Ohashi K, Fukuda T, Miyamura K, Mori T, Sao H, Kobayashi N, Iwato K, Sawada A, Mori S; HLA working group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Changes in the Clinical Impact of High-Risk Human Leukocyte Antigen Allele Mismatch Combinations on the Outcome of Unrelated Bone Marrow Transplantation. Biol Blood Marrow Transplant. (in press).	
17-15	「第一寛解期急性白血病に対する同種移植における、ドナー選択に関する臨床決断分析—GVH方向 HLA 一抗原不適合血縁者と HLA8/8 アリル適合非血縁者の比較」 PI：諫田淳也
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：投稿中	
17-16	「HLA血清型 6/6 適合の血縁同胞とその他血縁者間移植の比較」 PI：藤重夫
学会発表：第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-3月9日），沖縄	
論文業績：投稿中	
17-17	「臨床決断分析を用いた AML 第1寛解期における UBMT と UCBT の比較」 PI：神田善伸
解析中	
17-18	「臨床決断分析を用いた ALL 第1寛解期における UBMT と UCBT の比較」 PI：坂本佳奈
解析中	
17-19	「骨髄・末梢血幹細胞移植における GVH 方向 HLA 不適合あるいは HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI：諫田淳也
学会発表：第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-3月9日），沖縄	
17-20	「血縁者間同種移植における 1 抗原型不適合と 1allele 型不適合の比較」 PI：藤重夫
解析中	
17-21	「レシピエント HLA-C が、ドナーCTL と NK 細胞にとって、一致であるか不一致であるかの違いが、同種移植成績に及ぼしている影響」 PI：有馬靖佳
解析中	

③ 会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013/01/13	国立がん研究センター中央病院	定例会議(特に TRUMP の HLA データについて)

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで）
（922）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など